

議員提出議案の概要及び処理結果

第4回定例会で可決された意見書等の要旨と議決結果は次のとおりとなっております。

なお、可決された意見書については、その趣旨の実現へ向けた速やかな対応を求めるため、関係省庁へ直訴要請をいたしました。

北朝鮮の弾道ミサイル技術を用いた新型ロケットによる軍事偵察衛星打ち上げに抗議する決議

提出者 砥板 芳行



要旨

5月31日早朝、北朝鮮は弾道ミサイル技術を用いた新型ロケットによる軍事偵察衛星を、当市上空を軌道とする方向に発射を強行した。北朝鮮北西部から発射された新型ロケットは、2段目エンジンの異常により推力を失い、朝鮮半島西側の黄海上に落下している。

北朝鮮に対して、2006年に国連安全保障理事会は、決議1718号で、核ミサイル開発を禁じており、同決議は国際法上の派生法に当たることから、今回の弾道ミサイル技術を用いた新型ロケットの開発と発射は国際法違反であるとともに日朝平壤宣言に違反する行為である。

北朝鮮は、今回の打ち上げに際し、5月31日から6月11日の間に発射すること、海上保安庁、I M O 国際海事機関に対して、5月29日に事前通告をしていたが、この日から6月2日にかけて、新型ロケット打ち上げ軌道下の当市を含む先島諸島は、台風2号の最接近による暴風雨にさらされており、ロケット落下などの事態に対処できない状況下で発射を強行したことで、多くの人々に恐怖と大きな不安を与えた。

事実、新型ロケットは黄海上に落下しており、先島諸島に甚大な被害をもたらした可能性は否めないにも

関わらず、今後も発射を継続するとしていることは、先島諸島や地域の深刻な脅威となり、航空機や船舶の安全確保の観点からも極めて危険な行為となる。

よって当市議会は、北朝鮮による弾道ミサイル技術を用いた新型ロケット発射に対し厳重に抗議するとともに、核・弾道ミサイル開発の断念を強く求める。

(結果) 全会一致で可決

学校施設環境改善交付金の補助率引き上げ及び補助要件の見直しを求める意見書

提出者 石川 勇作

要旨

本市の小中学校では築40年以上の建物が大半を占め、老朽化により外壁の剥離や雨漏り、トイレの故障により使用ができないなど、児童生徒が心身ともに安心して学べる環境にな

い。また中学校のトイレの洋式率が50%に届いておらず、災害などの避難時に高齢者や障がいのある方の利

用にも支障をきたす懸念がある。

そういった地方の現状も踏まえ文部科学省においても、学校施設環境改善交付金として、新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進、避難所としての防災機能強化(トイレの改修等)などの整備に予算措置がされているが補助率が低く、整備に踏み込めずにいる。またトイレ工事においては1校あたりの工事費用が400万円以上ないと、補助が適用されず、小規模校の多い本市にとっては整備が進まない要因となっている。

(結果) 賛成少数で否決

新石垣空港駐車場における無料時間設定を求める意見書

提出者 友寄 永三



要旨

沖縄県内には、国が設置し管理を行う、空港法で定められた拠点空港である那覇空港と県が設置管理を行う地方管理空港である新石垣空港を含むその他12の空港が設置されている。県内各空港は駐車場が整備されているが、有料となっている。駐車場は那覇空港、宮古空港、新石垣空港の3空港である。

那覇空港では、駐車場入庫後30分以内の出庫は無料とする無料時間を設定しており、空港利用者の送迎等の負担軽減になっているが、宮古島市民と石垣市民はその制度が無く、他の地域と比べて負担を強いられている状況である。このことは、新石垣空港ターミナルビル前の混雑を引き起こす一因ともなっておりターミナルビル前の道路は降車専用となっているにもかかわらず駐車場が有料である